

常に最新の状態を維持すべき理由

SOLIDWORKSの重要性

障壁を減らし、生産性を向上させ、エンジニアリングを前進させます。

48.3%

最近のSOLIDWORKSのリリースでは、アセンブリ構造、合致、およびコンフィギュレーションを含む主要なワークフローで**最大48.3%のパフォーマンスが速くなりました**。
最新バージョンは、新機能だけではありません。エンジニアが日常業務をより迅速かつ効率的に完了できるようになっています。



エンジニアリングの生産性向上

すべてのSOLIDWORKSリリースには、パフォーマンスの向上、ワークフローの改良、およびエンジニアが日常的なタスクをより迅速に完了できるようにするユーザビリティの強化が含まれています。モデリングやアセンブリから図面やドキュメントに至るまで、継続的な機能アップデートによって、手作業を削減し、設計により多くの時間を費やし、待ち時間を減らすことができます。

メリットは次のとおり:

モデリングとアセンブリのワークフローの高速化

日常的な作業でのユーザビリティの向上

手作業と繰り返し手順の削減

すべてのリリースにおける継続的な生産性の向上

隠れたエンジニアリングコストの削減

ソフトウェアのアップグレードを遅らせることで、一見コストを節約できるように見えますが、トラブルシューティング、CAD作業の手戻り、ファイル変換、パフォーマンスの低下、手作業によるプロセスの発生など、隠れたコストがすぐに積み重なります。最新の状態を維持することで、これらの非効率性を排除できるため、エンジニアリングチームは製品の迅速な提供に集中できるようになります。

コスト削減の要因:

エンジニアリング作業の手戻りの最小化

トラブルシューティングとITのオーバーヘッドの削減

不要な手作業プロセスの排除

エンジニアリングにかかる時間と生産性の最大化

チーム間のコラボレーションを強化

現代の製品開発は、エンジニア、サプライヤー、メーカー、そして顧客が、信頼性が高く互換性のある設計データを共有して業務を進めることが重要です。最新の状態を維持することで、コラボレーションの障壁を解消し、無駄な遅延が生じることなくプロジェクトを継続できます。

メリットは次のとおり:

社内外のチームとの円滑なコラボレーション

製品開発プロセス全体の相互運用性の向上

手作業による引き継ぎやワークフローの混乱の減少

設計レビューとプロジェクト調整の効率性向上

バージョンの互換性問題の解消

お客様とサプライヤーが新しいSOLIDWORKSのリリースを採用するにつれて、古いバージョンでは、ファイルの変換、エクスポート、および手作業による回避策が必要になるケースが増えていきます。最新の状態を維持することで、互換性を維持し、コストのかかる手戻りのリスクを軽減できます。

最新の状態を維持するメリット:

ファイルを開くときと共有するときの効率向上

変換エラーとデータ損失の削減

サポートされているアップグレードパスの活用

より安心・確実な設計データの受け渡し

サポートされたCAD環境の維持

技術は速いペースで変化します。OS、グラフィックスドライバー、ハードウェア、といったITの要件は常に進化しているため、CAD環境のサポートと信頼性を維持することが重要です。

最新の状態を保つメリット:

サポート対象のOSおよびハードウェアとの互換性

ソフトウェアアップでデット、サービスパック、およびバグ修正

SOLIDWORKS販売代理店からのテクニカルサポート

SOLIDWORKSナレッジベースへのアクセスとトラブルシューティングのリソース

常に最新。常に高い生産性。アップグレードがもたらす価値。

SOLIDWORKSを最新の状態に保つことは、最新の機能を利用することよりも重要です。それは、エンジニアリングの効率性、コラボレーション、長期的な生産性への投資となります。リリースを重ねるごとに、仕事のスピードが速くなり、障壁が軽減され、製品の質が上がり、自信を持って製品を提供できるようになります。

SOLIDWORKSサブスクリプション サービスの詳細

